

(社) 日本動物学会

中部支部ニュース

2005年3月23日

目次

- I. 前期支部長挨拶
- II. 新期支部長挨拶

I. 前期支部長挨拶

すでにお知らせ致しましたように、昨年夏に行いました中部支部役員選挙におきまして平成17・18年の新支部長、評議員、及び地区委員が選出されました(以下参照)。その際、事務局の手落ちにより上記役員の選出が遅れ、それに伴い支部長に選出されました笹山雄一先生の理事への就任手続きが9月に開催された神戸大会までには間に合いませんでした。

先週末の3月19日に平成17年の第一回理事会、総会が開催され、その場で笹山雄一支部長の理事への就任が承認されました。このような事情により、新支部長の引継ぎが大幅に遅れてしまい、笹山先生をはじめ中部支部会員の皆様には多大なご迷惑をお掛けしましたこと深くお詫び申し上げます。以上、お詫びとともにご報告申し上げます。

2期4年間にわたり支部長をつとめさせていただきましましたこと、支部会員の皆様のご協力のお陰とこの場をおかりして心より感謝申し上げます。最後になりましたが、皆様のご健康と益々のご活躍を祈念しております。有難うございました。

(社) 日本動物学会中部支部
前期支部長 長濱嘉孝

平成17・18年(社) 日本動物学会中部支部新役員

支 部 長 : 笹山雄一

評 議 員 : 内山 実

笹山雄一

長濱嘉孝

西川輝昭

吉国通庸

愛知地区委員 : 井口泰泉

石川地区委員 : 鈴木信雄

岐阜地区委員 : 山本謙也

静岡地区委員 : 山内清志

富山地区委員 : 小松美英子

長野地区委員 : 木村 建

福井地区委員 : 佐々治寛之

三重地区委員 : 後藤太一郎 (敬称略)

Ⅱ. 新期支部長挨拶

日本動物学会中部支部会員の皆様

金沢大学の笹山です。種々の事情により諸手続きが遅れておりましたが、平成 17 年 3 月 19 日の本部における理事会において、小生が日本動物学会の中部支部長として理事に加わることが承認され、正式に活動させていただくことをまず、ご報告申し上げます。

歴代、支部長の要職を勤める人間は、学問において赫々たる成果をあげ、未来に展望を持ち、会員の皆様に方向を指し示すことができる方々ばかりがなっておられました。それにも関わらず、小生が末席を汚すのは、まったく本意ではありませんが、これは「人に尽くせ」という天命であると解し、これからの 2 年間に支部長として働かせていただきますので、何卒、よろしくお願い申し上げます。

小生は、以前より中部支部とは不思議な区分であると思っておりました。本学会の支部は、明治時代の内務省が定めた 8 つの地方区分に準じたものかもしれませんが（本学会では中国・四国を一つにしているため 7 つ）、中部支部とは北陸三県（石川県、富山県、福井県）と甲信地方（山梨県、長野県）と東海地方（静岡県、岐阜県、愛知県、三重県）を併せた区分と思われる。これらの県は、日本海に面する県と太平洋に面する県とその間の内陸を占める県という言い方もできるのですが、これら 3 つの地方で気候、風土、文化がまったく異なります。3 つの地方が密接に結びついているかというところではなく、むしろその周辺の地方とより強いつながりがあるというのが、現実かと思われれます。棲息する動物も違うように思います。海産無脊椎動物図鑑は太平洋側の種について記載されていることが多く、日本海側で同種と思われる種でも何となくしっくりこない気がする時があるくらいです。

ちなみに他の学会で中部支部はどうなっているかを見ますと、日本植物学会は、中部支部とは別に北陸支部というのがあります。日本生化学会でも同様であります。すなわち、それらの学会では北陸は太平洋側とは異なると認識しているのです。日本動物学会と似たような区分を持つ学会は、日本水産学会であります。ホームページ上の地図で、中部支部は太平洋側に大きくマークされておりますから、そのような認識であろうと思われれます。

上記の事はざーと私の頭の中であり、したがって、この 2 年間で中部支部の動物学的特徴、すなわち支部の中で何が違い何が同じであるのか、それは日本全体や、よりグローバルに見た時に、どういう意味があるのか、あるいはどう関連付けられるのかを通じて中部支部としてより強いアイデンティティを確立させることを目標と致したいと存じます。もしもその過程において新たなつながりや研究の糸口ができれば、小生の望外の喜びとするところであります。

笹山雄一
金沢大学自然計測応用研究センター
生物多様性部門
Division of Biodiversity
Institute of Nature and Environmental Technology
〒920-1192 金沢市角間町金沢大学理学部内
tel:076-264-6071
e-mail:sasayama@kenroku.kanazawa-u.ac.jp

臨海実験施設

Noto Marine Laboratory

〒927-0553 石川県鳳珠郡能登町字小木△4-1

tel:0768-74-1151, fax:0768-74-1164

e-mail:sasayama@kenroku.kanazawa-u.ac.jp

(社) 日本動物学会・中部支部

支部長 (15・16年): 長濱嘉孝 (基礎生物学研究所)

事務局: Tel: 0564-55-7550、Fax: 0564-55-7556、

E-mail: nagahama@nibb.ac.jp